

座標: 北緯34度27分26.68秒 東経136度47分7.56秒

ウィキペディア

金剛證寺

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』



この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です。

出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。（2017年1月）

金剛證寺（こんごうしょうじ）は、三重県伊勢市朝熊町岳にある臨済宗南禅寺派の寺院である。山号は勝峰山、院号は兜率院と称する。本尊は虚空蔵菩薩である。朝熊山（あさまやま）南峰（経ヶ峯）東腹にあり、「朝熊山」と呼ばれる場合がある。

目次

沿革

信仰対象としての朝熊山

文化財

国宝

重要文化財

国の史跡

関連項目

外部リンク

沿革

創建は6世紀半ば、欽明天皇が僧・暁台に命じて明星堂を建てたのが初めといわれているが、定かでない。平安時代の825年（天長2年）に空海が真言密教道場として当寺を中興したと伝えられている。なお鳥羽市河内町丸山539の庫蔵寺（真言宗御室派）は、空海が当寺の奥の院として建立したという。金剛證寺はその後衰退したが、14世紀末の1392年（明德3年）に鎌倉建長寺5世の仏地禅師東岳文昱（とうがくぶんいく）が再興に尽力した。これにより東岳文昱を開山第一世とし、真言宗から臨済宗に改宗し禅宗寺院となった。

金剛證寺



境内

所在地 三重県伊勢市朝熊町岳548

位置 北緯34度27分26.68秒 東経136度47分7.56秒

山号 勝峰山

宗派 臨済宗南禅寺派

本尊 虚空蔵菩薩

創建年 （伝）6世紀中葉

開基 暁台上人

正式名 勝峰山 兜率院 金剛證寺

札所等 伊勢西国三十三所観音霊場2番

文化財 朝熊山経ヶ峯経塚出土品（国宝）
本堂、九鬼嘉隆像他（重要文化財）

法人番号 4190005004791
(https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki-johoto.html?selHouzinNo=4190005004791)

室町時代には神仏習合から伊勢神宮の丑寅（北東）に位置する当寺が「伊勢神宮の鬼門を守る寺」として伊勢信仰と結びつき、「伊勢へ参らば朝熊を駆けよ、朝熊駆けねば片参り」とされ、伊勢・志摩最大の寺となった。

関ヶ原の戦いから敗走したのちに答志島（現・鳥羽市）で自刃した九鬼嘉隆のゆかりの寺であり、嘉隆にまつわる所蔵品がいくつもある。嘉隆の三男有慶は嘉隆の菩提を弔い金剛證寺に出家し、金剛證寺第12世となった。

江戸時代には徳川幕府が伊勢神宮と絡んで重視し、援助した。**1609年**（慶長14年）には播磨国姫路城主で豊臣秀吉の七将の一人、池田輝政公が火災で失われた本堂摩尼殿（まにでん）を再建した。この本堂は**1701年**（元禄14年）に徳川綱吉の母桂昌院による修復を経て現存し、重要文化財に指定されている。

1925年（大正14年）にケーブルカーが開通、昭和になってからは内宮前から登山バスが運行されるなどで朝熊山へ登る人が激増したが、第二次世界大戦中の**1944年**（昭和19年）ケーブルカーの線路が軍用のため金属供出により徴収され廃線となり、一般の朝熊山への入山が禁止され金剛證寺は衰退した。戦後には伊勢湾台風などで被害を受けるなど衰退の一途をたどった。**1964年**（昭和39年）の伊勢志摩スカイライン開通後には参拝客も再び急増し、**1979年**（昭和54年）に仁王門が再建されるなど、往時の賑わいを超えるまでに復興した。路線バスは**2008年**以降、6月の開山忌の3日間を除いて運行されていなかったが、**2013年**以降は土休日に限り三重交通の参宮バスが運行されている（但し、本数が1日に5本と僅少であり、注意を要する）。

信仰対象としての朝熊山

1894年（明治27年）に、近くの経ヶ峯から複数の平安時代末期の**1173年**（承安3年）の銘のある経筒が発見されたほか、**1960年**（昭和35年）の伊勢湾台風でも経塚が発見され、この平安末期には埋経信仰があったことが確認された。このときの出土品の経筒などは**1963年**（昭和38年）に国宝（考古資料）に指定され、経塚は**1966年**（昭和41年）に朝熊山経塚群として国の史跡に指定された。「線刻阿弥陀三尊来迎鏡像」などの「朝熊山経ヶ峯経塚出土品」は、当寺境内にある宝物館で見ることができる。

朝熊山付近では江戸期以降、宗派を問わず葬儀ののちに朝熊山に登り、金剛證寺奥の院に塔婆を立て供養する「岳参り」「岳詣（たけもうで）」などと呼ばれる風習がある。



金剛證寺本堂（重要文化財）



九鬼嘉隆の五輪塔



1979年に再建された仁王門



朝熊山経塚群

また寛永7年（1630年）に秋田氏の祖で常陸国宍戸藩主秋田実季が山麓に蟄居させられている。豊臣秀吉の勘気を受けた尾藤知宣が潜伏したり、関ヶ原の戦いに際して福原長堯がこの地で自害したなど、アジールの空間でもあった。

文化財



岳参りに向かう人々

国宝

- 伊勢国朝熊山経ヶ峯経塚出土品
 - 陶経筒 1口 奉造立如法経亀事、承安三年八月十一日、伊勢大神宮権禰宜荒木田時盛在銘
 - （以上第一経塚）
 - 銅経筒 2口
 - 銅鏡 残欠共 2面分
 - 青白磁盒子 1合
 - （以上第二経塚）
 - 銅経筒 1口 平治元年己卯八月十五日在銘
 - 経巻13巻 内1巻法華経巻三 平治元年八月十四日奥書 内1巻般若心経
 - 線刻阿弥陀三尊来迎鏡像 2面
 - 線刻阿弥陀三尊鏡像 1面
 - 線刻阿弥陀如来鏡像 1面
 - 銅提子 1口
 - 土製外筒 1具
 - （以上第三経塚）

重要文化財

- 本堂（摩尼殿）
- 紙本著色九鬼嘉隆像
- 木造雨宝童子立像
- 木造地藏菩薩立像
- 太刀〈銘不明伝吉包/拵黒漆太刀〉
- 銅造双鳳鏡

国の史跡

- 朝熊山経塚群

関連項目

- 日本の寺院一覧
- 日本の寺の画像一覧
- 伊勢神宮
- 朝熊山
- 香良洲神社 - 「お伊勢詣りをして加良須に詣らぬは片参宮」と呼ばれた神社。
- 萬金丹

外部リンク

- 金剛證寺 (<http://www.iseshimaskyline.com/kongoushouji.htm>)
 - ウィキメディア・コモンズには、**金剛證寺** (<https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Kong%C5%8Dsh%C5%8D-ji?uselang=ja>)に関するカテゴリがあります。
-

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=金剛證寺&oldid=73273519>」から取得

最終更新 2019年6月28日 (金) 14:28（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。